

令和2年「年末火災予防(警戒)運動」

12/20(日)~12/31(木)

年末の繁忙期を迎えるにあたり、不注意等による火災の発生が危惧されます。

また、これからの時季は、ストーブなどの暖房器具を使う機会が増えるため取扱いに注意が必要です。
火災から大切な命や財産を守るために、しっかり火災予防対策をしましょう。

ストーブ火災対策！

- ・ストーブの上に物を置かない。
- ・就寝時や外出時は電源を切る。
- ・火のついたまま給油しない。
- ・火をつけたままストーブを動かさない。
- ・ストーブのそばで遊ばない。
- ・使用前に必ず点検や清掃を行う。

10年経ったら交換しましょう



電池切れていませんか？

電池切れや電子部品の劣化で火災を感知しなくなっている場合があります。

点検方法は簡単！

ひもを引っ張るか、ボタンを押すだけです。

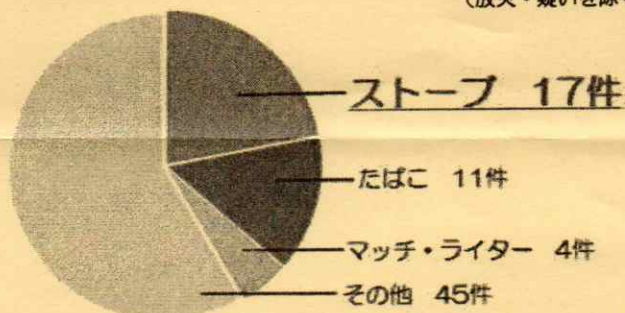
◎正常な場合は？

正常をお知らせするメッセージまたは警報音が鳴ります。

◎音が鳴らない場合は？

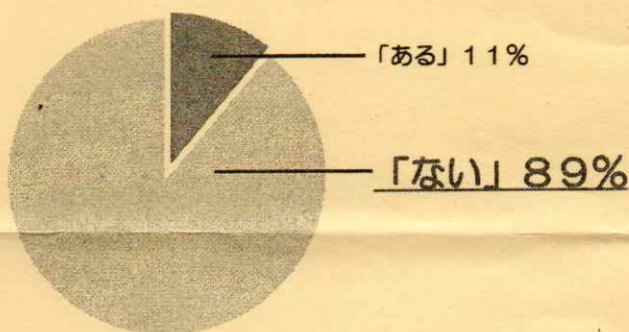
電池切れまたは故障の可能性があります。
交換しましょう。

◎過去10年間の住宅火災における
出火原因別死者発生状況（平成22年～令和元年中）
（放火・疑いを除く）



住宅火災の死者発生状況を見ると、ストーブが一番多い。
この時期、各家庭で使用する機会が増えるため注意が必要です。

◎広島市消防局実施
住宅用火災警報器アンケート調査
（令和2年7月1日現在）
「半年以内に点検したことがありますか？」



多くの家庭が、「点検をしていない」と回答。
いざという時のために、こまめに点検を行いましょう。

奏功事例

その1. 鍋を火にかけてことを忘れて外出。鍋が空焚き状態になり、住宅用火災警報器が鳴動。
家の前を通りかかった隣人が音に気付き、119番通報して火災に至らなかった。

その2. 火種の残ったたばこが灰皿からじゅうたんに落下。就寝していた家人が警報音に気付き、初期消火。
警報音により早期発見につながり、一命をとりとめた。

—実施機関—

—協力機関—

（広島市消防局）（広島市消防団）（海田町消防団・坂町消防団・熊野町消防団）
（安芸太田町消防団・廿日市市消防団）